

【第1号報告】住吉高校100周年記念事業

(I) 計画概要

=====

住吉高校創立100周年——自主・自律を未来につなぐ

飛躍年にしよう！

=====

大阪府立住吉高等学校創立100周年記念事業計画

1 目的

2022年に迎える大阪府立住吉高等学校創立100周年に合わせ、学校・PTA・後援会・同窓会が合同で100周年を祝う事業（以下、「100周年記念事業」）を行う。

住吉高校の生徒たちが学習しやすい環境の整備を主とし、あわせて奨学金制度の充実を図るとともに、母校を支えるための同窓会組織を強化するために、同窓会・母校のホームページの刷新、さらに同窓会会員名簿システムの充実及び北畠会館の維持管理の整備を行う。

2 100周年記念事業の内容（事業内容は、募金の総額に応じて、多少変更・修正する。）

(1) 先行事業

最先端のICT環境を学校に整備・充実を図ることは喫緊の課題であることから、2022年（100周年時）を待たずに、周年行事用に貯蓄しているPTA・後援会の周年事業用積立金及び一般寄付募金を活用して、事業を一部先行実施する。

〔先行事業内容〕

- ・各教室に、電子黒板仕様のプロジェクター及びスクリーンを設置
普通教室（21）、特別教室（8）
- ・教室にWi-Fi設備を設置（状況により継続事業へ）

(2) 継続事業

食堂を飲食かつ討論可能な多目的自習室に改修する。生徒の自主的な勉学を促進するために自習室の充実を図るとともに、アクティブ・ラーニング・スペースなど多目的に使える教室として、食堂を改修し学習環境の整備・充実を図る。

また、10年間の計画で実施してきている「新奨学金制度」の更なる継続を目指す。同時に、ホームページの刷新等、学校を支援するための同窓会の運営ための機能強化を図る。

〔特定寄付金を活用して行う事業案〕

- ・食堂を空調設備の整った多目的な用途に使える場所として改修
机や椅子、ホワイトボードなどを自由に配置できる明るい部屋に改修し、飲食可能でディスカッションやグループ学習など自由に談話が行える場所とし、ラーニング・コモンズ（アクティブ・ラーニング・スペース）として活用したり、2階の視聴覚教室とリンクさせて、大人数を対象と

する講演会や説明会としても活用したりできるように設備も完備する。また、放課後には、不足している自習室としても活用し、学習の場を提供する。

〔一般寄付金を活用して行う事業案〕

- ・空調設備の整っていない特別教室（3）や教員準備室（2）に空調設備を設置
近年の夏の猛暑の中、生徒・教職員の健康管理に配慮し、安心して学べる環境を整える。
- ・学校及び同窓会のホームページ（Web サイト）の刷新
- ・100周年記念式典・記念祝賀会・記念誌発行
- ・同窓会館（北畠会館）の継続的な保守管理
- ・「新奨学金制度」の継続・充実
- ・その他同窓会の組織の強化・活性化のために、同窓会会員名簿の Web 管理等

3 大阪府立住吉高等学校創立 100 周年記念事業実行委員会と記念会

100 周年記念事業の主体は学校であり、この事業を遂行するため「大阪府立住吉高等学校創立 100 周年記念事業実行委員会」（以下「実行委員会」）を設ける。実行委員会は、記念事業として生徒のための教育支援を行う。

また、実行委員会が行う記念事業を支援するために、同窓会が中心となって「大阪府立住吉高等学校創立 100 周年記念会」（以下「記念会」）を設ける。記念会は、主として 100 周年記念事業に必要な募金活動を行い、実行委員会が行う教育支援事業の内容を共に検討する。また、記念会は、学校の 100 周年記念を機として今後の同窓会活動の充実に必要な方策についても検討する。

4 100 周年記念事業実行委員会組織

以下の役員・委員長の氏名は、記念事業スタート時のもので、事業実施年度まで、括弧内の役職に基づいて随時決定する。なお、●印の表記は、母校の教職員及び PTA からの担当で、2019 年度に入ってから肩書きも含めて決定される予定。

(1) 役員

名誉会長：田中 仁（校長）

会 長：西岡 昇（同窓会会長）

副 会 長：水口 宇市（東京同窓会会長）、奥田 英智（PTA 会長）、森本 哲弘（後援会会長）

(2) 記念事業実行委員会（委員は、必要に応じて適宜補充する。）

実行委員長：八尾 隆（同窓会副会長）

実行副委員長：南部 高志（同窓会副会長）、寺田 明彦（教頭）、木内 賀子（PTA 副会長）、
宮川 玲（後援会副会長）、吉永 芳明（後援会副会長）

実 行 委 員：世登 武（事務長）、杉原 なお子（同窓会書記）、浅井 健太（同窓会書記）、
木村 隆（同窓会会計）、清水 汎（同窓会監事）、田中 敏則（同窓会監事）、
以下の(ア)～(カ)の委員長または副委員長で同窓会関係者、●● ●●（PTA 書記）

(ア) 記念式典・記念講演会委員会

委 員 長：寺田 明彦（教頭）

副委員長：風早 宣明（同窓会総務委員長）

委 員：●● ●●（国際文化科科长）、●● ●●（総合化学科科长）、

木村 宙生（同窓会総務副委員長）、氏原 徹（同窓会総務副委員長）、
岡山 保美（同窓会総務副委員長）、●● ●●（PTA 書記又は副会長）

(イ) 記念祝賀会委員会

委員長：佐藤 徳子（同窓会交流委員長）

副委員長：●● ●●（首席）

委員：●● ●●（校内幹事）、明城 和彦（同窓会交流副委員長）、
阪口 路子（同窓会交流副委員長）、佐藤 竜一（同窓会交流副委員長）、
●● ●●（PTA 書記）

(ウ) 記念誌委員会

委員長：●● ●●（首席）

副委員長：岡本 カヨ（同窓会文化委員長）

委員：●● ●●（校内幹事）、廣田 裕子（同窓会文化副委員長）、
平光 清恵（同窓会文化副委員長）、●● ●●（PTA 広報委員長）

(エ) 広報・記念募金活動委員会

委員長：杉原元美（同窓会広報委員長）

副委員長：●● ●●（総務部長）、中嶋有希子（同窓会名簿委員長）

委員：●● ●●（校内幹事）、福井 欣二（同窓会広報副委員長）、
小松 幹幸（同窓会名簿副委員長）、角谷 勇一（同窓会名簿副委員長）、
谷川 友基（同窓会名簿副委員長）、●● ●●（PTA 学年委員長）

(オ) 財務委員会

委員長：蔵口康裕（同窓会財務委員長）

副委員長：世登 武（事務長）

委員：●● ●●（主査）、加藤 勝康（同窓会財務副委員長）、
嘉正 美砂枝（同窓会財務副委員長）、●● ●●（PTA 会計）

5 100周年記念会組織

(1) 役員

名誉会長：田中 仁（校長）

会長：西岡 昇（同窓会会長）

副会長：八尾 隆（同窓会副会長）、南部 高志（同窓会副会長）、水口 宇市（東京同窓会会長）

顧問：奥田 英智（PTA 会長）、森本 哲弘（後援会会長）

(2) 募金活動（目標額）

(ア) 特定目的の寄付（税制優遇あり）

3,000 万円（多目的自習室の設置）

(イ) 一般寄付

5,000 万円

ICT 環境の改善、特別教室への空調設備の設置、新奨学金制度の継続、
記念式典・祝賀会の開催、記念誌の制作、同窓会館の修繕積立金、
情報発信・管理システムの整備、関連事務・広報費

(Ⅱ) 2018年度事業報告

1. 会議

1-1. 打ち合わせ

日時：2018年6月22日（金）13時00分～16時00分

出席：〔学校〕田中校長、寺田教頭、世登事務長 〔同窓会〕西岡、八尾

内容：学校の意向、これまでの同窓会側との話し合い、準備の進捗状況等の確認。

1-2. 準備委員会（同窓会）

日時：2018年7月13日（金）18時00分～21時00分

出席：拡大役員会構成員（役員＋各委員会委員長）

内容：記念事業の方向性の確認。

- ・学校、PTA、後援会、同窓会が連携して行う。
- ・記念事業実施の組織案作り。
- ・学校の教育活動の支援の内容などを、事業を募金の種別（税制優遇のある特定募金とその他の一般募金）に分けて検討する。北畠会館の維持（メンテナンス）や学校・同窓会のホームページの刷新など、教育活動支援のためにも同窓会活動を効率よく運営できるように必要な事業も検討する。

1-3. 準備委員会（学校＋PTA＋後援会＋同窓会）

日時：2018年8月22日（土）16時00分～17時00分

出席：〔学校〕田中校長、世登事務長 〔PTA〕奥田会長 〔後援会〕森本会長、
〔同窓会〕西岡、八尾、南部

内容：同窓会側でまとめた（1-2の内容の）案を提示し、了承を得た。

特に、田中校長の意向を受け、PTA、後援会で周年事業用に積み立てている資金を活用して先行事業（ICT化の推進として各教室に電子黒板仕様のプロジェクターの設置）の実施をめざすこと、実行委員会の正式発足（下記1-4）前から学校と同窓会とでその準備を開始することも決定。

1-4. 100周年実行委員会

日時：2018年11月17日（土）14時00分～16時30分

出席：〔学校〕田中校長、世登事務長

〔PTA〕奥田会長、守谷書記、中田会計、世羅会計監査 〔後援会〕森本会長

〔同窓会〕役員、常任幹事、校内幹事長、事務局長

内容：100周年記念事業組織について

準備委員会で打ち合わせた内容について説明、了承を得た。

記念誌については、90周年以降の記録を中心としたコンパクトなものとし、CD化なども検討する。

1-5. 高校ICT推進プロジェクト打ち合わせ

構成員：

〔学校〕田名瀬先生、大門先生、海住先生、越智先生、大浦先生

〔同窓会〕西岡、八尾、南部、岡山、秋元

〔オブザーバー〕田中校長、寺田教頭、世登事務長、中野秀雄氏（高18期）

日時と内容：

2018年9月19日（水）16時00分～18時00分

学校側の要望のヒアリング

2018年10月22日（月）16時30分～18時00分

導入したい電子黒板の仕様の確認

2018年12月19日（水）16時00分～17時30分

RFP（提案依頼書）の内容検討

2019年1月15日（火）15時40分～19時00分

RFP（提案依頼書）の内容確認

2019年2月5日（火）16時45分～18時50分

学校内 ICT 環境の確認

2. 活動

2-1. 学校の ICT 化推進の事業

- ・電子黒板の全教室への導入と利用状況について、府立牧野高校でヒアリング

日時：2018年11月22日（木）15時00分～18時00分

参加：〔学校〕ICT チーム 〔同窓会〕西岡、八尾、岡山

導入された電子黒板のスペック、調達価格、教員の利用方法、活用実態、教育委員会との調整内容等が把握できた。

- ・電子黒板調達に関する RFP（提案依頼書）発行

日時：2019年2月1日（金）メールで対応

プロジェクターメーカー（エプソン、NEC、日立、パナソニック、キャノン、リコー、Mimio）に提案依頼を行い、エプソン、NEC、日立の3社（窓口となる販売会社は4社）が提案応諾した。

※ 提案を辞退したメーカーは、学校が導入を希望している超短焦点プロジェクターの製品販売がなかった。

※ 提案締切は4月3日、第1次審査は4月10日、第2次審査は4月17日を予定。

2-2. 100周年事業としての同窓会の IT 推進事業

- ・同窓会ホームページ（Web サイト）、名簿データベースの今後の対応の検討

日時：2018年12月22日（土）10時00分～12時20分

参加：広報委員会、文化委員会、総務委員会、事務局

本格的な稼働は、次年度に委員会横断的なプロジェクトチームを組織してから開始すること、そのために IT 技術に詳しい会員の発掘を進めることを情報共有した。

2-3. 特定寄付金を用いた事業

- ・学校が希望している事業対象の現場の確認

食堂及び周辺、自転車置き場、空調設備設置予定場所、旧正門からの通路

日時：2019年2月25日（月）9時30分～12時00分

- ・提案書作成の為の現地調査

日時：3月19日（火）11時00分～13時00分

いずれも、西岡、八尾、南部、秋元が訪問し、学校側は田中校長、寺田教頭が対応。

2-4. 記念式典・記念祝賀会事業

- ・会場は、国際会議場（式典）、リーガロイヤルホテル（祝賀会）を検討

日時：2019年2月4日（月）13時00分～14時00分（北畠会館で打ち合わせ）

参加：〔学校〕田中校長、寺田教頭　〔同窓会〕西岡、八尾、清水、秋元

〔リーガロイヤルホテル〕八木副支配人、営業一課の金子氏

- ・開催日を2022年10月29日（土）に仮決定

同窓会会員、PTA、後援会関係者が出席しやすい土曜日で、かつ11月1日の創立記念日に近い日程で学校の行事予定も踏まえて検討し、国際会議場およびリーガロイヤルホテルの空き状況を鑑み、国際会議場の仮押さえ、リーガロイヤルホテルの仮予約ができた。

2-5. 広報・記念募金活動事業

- ・100周年記念事業のキャッチフレーズの作成

2018年8月25日（土）の住中住高同窓懇談会で募集開始。

2019年1月19日（土）の拡大役員会で候補の絞込み。

その後作者（岩佐倫太郎氏（高18期））と杉原（元）とで調整して正式決定。

- ・100周年記念事業のロゴマークの作成

2018年10月15日（月）

永井一正氏（中22期）にロゴマーク作成を打診し、快諾を受ける。

- ・趣意書作成

2019年1月19日（土）の常任幹事会で、素案提示。

2019年3月16日（土）15時00分～18時00分

杉原（元）の呼びかけで、西岡、八尾、南部を交え打ち合わせ。

（内容） 書面だけの趣意書では募金を訴える力が弱いように思われる。より効果的に訴えるため、以下の方向で検討する。

（1） これまでの寄付で実現された北畠会館の活用状況などを報告し、感謝の意を表し、会員はじめ皆様方の寄付が現在も、そしてこれからも活かされていくことを伝える。

（2） 未来に向けたビジョンをわかりやすい切り口で事業内容とからめ、それらをより効果的に伝えるためにもビジュアル化したリーフレットを作成する。

2-6. 募金のための銀行口座開設

財務省大阪国税局を訪問し、特定寄付（税控除の認められる寄付）としての認可のための手続きについて相談

日時：2019年3月1日（金）13時00分～14時00分

参加：木村（隆）、秋元

（手続きについて）

- ・税制優遇の特定口座を作るためには大阪府教育委員会の承認後に申請が可能。
- ・申請には、組織表・構築予定物の図面と寄附金予定額の明記が必要。
- ・税制優遇を受けない一般口座の開設は可能。